

個別施設計画

策定年月 H30.1

施設名	瀬戸高等学校			所在地	岡山市東区瀬戸町光明谷316番1号		
敷地面積	43,837.06 m ²			棟数	52 棟 (計画記載対象 11 棟)		
延床面積	9,663.52 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 <u>6弱</u> <u>津波</u> - <u>浸水</u> -							
建築規制	市街化区域、第一種中高層住居専用地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2016年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)			
	283,331 kwh	572 m ³	6,241 m ³	545 ℓ			
管理上の特記事項	敷地内未利用地 993.41m ² 敷地内貸付地 なし 岡山市避難所(土砂災害、洪水、津波)協定による避難場所						

1 施設内建物の概況

名 称	本館棟(3棟)3-1	本館棟(5棟)3-2	二館棟(12棟)6-1
築年(西暦)	1962 年	1963 年	1964 年
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階
建築面積	299.52 m ²	390.43 m ²	158.37 m ²
延床面積	911.04 m ²	1,096.80 m ²	475.12 m ²
主要な用途 (室名等)	校長室 事務室 普通教室	教務室 視聴覚室 普通教室	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	不適	不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	給排水設備

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	二館棟(20棟)6-2	格技場棟(24-1棟)8	特別教室棟(25棟)6-3
築年(西暦)	1966年	1967年	1967年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 1階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	224.73 m ²	309.25 m ²	211.78 m ²
延床面積	674.18 m ²	309.25 m ²	635.35 m ²
主要な用途 (室名等)	保健室 書道教室 普通教室	格技場	化学教室 物理教室 美術室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備)	—
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	給排水設備	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	特別教室棟(26棟)6-4	LI教室 LL準備室棟(27棟)6-5	体育館棟(43棟)9
築年(西暦)	1968年	1968年	1972年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 1階
建築面積	169.20 m ²	164.43 m ²	1,276.00 m ²
延床面積	507.60 m ²	493.29 m ²	1,498.36 m ²
主要な用途 (室名等)	化学教室 物理教室 音楽教室	調理室 被服室	体育館
主要な設備 (屋外を含む)	—	空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	給排水設備	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	桃友会館棟(52棟)11-1,2	三館棟(58棟)14	
築年(西暦)	1978年	1983年	年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階	造 階
建築面積	276.20 m ²	268.89 m ²	m ²
延床面積	573.44 m ²	806.67 m ²	m ²
主要な用途 (室名等)	食堂	生物教室 社会科教室	
主要な設備 (屋外を含む)	—	給排水設備	
利用状況	高	高	
耐震性 ※1	有	有	
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	屋根	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館棟(3棟)3-1	設備等の定期更新を行う。
本館棟(5棟)3-2	設備等の定期更新を行う。
二館棟(12棟)6-1	長寿命化改修を行う。
二館棟(20棟)6-2	長寿命化改修を行う。
格技場棟(24-1棟)8	長寿命化改修を行う。
特別教室棟(25棟)6-3	設備等の定期更新を行う。
特別教室棟(26棟)6-4	設備等の定期更新を行う。
LI教室 LL準備室棟(27棟)6-5	長寿命化改修を行う。
体育館棟(43棟)9	予防保全を図る。
桃友会館棟(52棟)11-1,2	設備等の定期更新を行う。
三館棟(58棟)14	長寿命化改修を行う。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
中性化対策・屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(58棟)2018年度設計、2019年度から施工
(12棟、20棟、27棟)2020年度以降設計・施工
(24-1棟)2024年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館棟(3棟)3-1	設備等の定期更新		屋上防水	外壁改修 受変電設備 自動火災報知設備 エアコン・給湯器							
本館棟(5棟)3-2	設備等の定期更新		屋上防水	外壁改修 受変電設備 自動火災報知設備 エアコン・給湯器							
二館棟(12棟)6-1	長寿命化改修				設計・施工 3						
二館棟(20棟)6-2	長寿命化改修				設計・施工 12棟に含						
格技場棟(24-1棟)8	長寿命化改修								設計・施工		
特別教室棟(25棟)6-3	設備等の定期更新						屋上防水・外壁改修				
特別教室棟(26棟)6-4	設備等の定期更新						屋上防水・外壁改修				
LI教室 LL準備室棟(27棟)6-5	長寿命化改修				設計・施工 12棟に含						
体育館棟(43棟)9	予防保全	予防保全を図る。									
桃友会館棟(52棟)11-1,2	設備等の定期更新			屋上防水・外壁改修							
三館棟(58棟)14	長寿命化改修		設計	施工 2							

4. 概算費用

・総額 7億円(長寿命化改修 6億円、設備等更新 1億円)